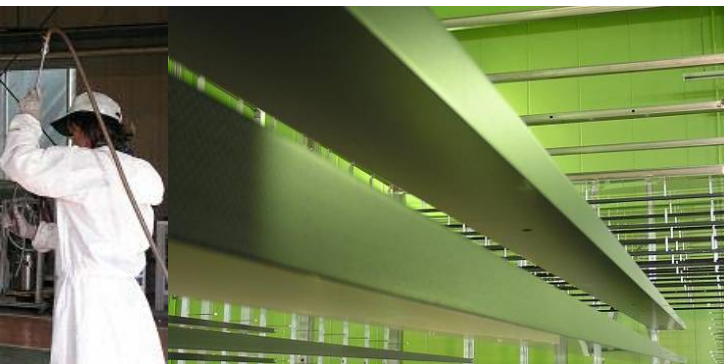


会社説明会

平田機工株式会社 2008.12.1



The Global Production Engineering Company
Hirata





I 当社の会社概要

企業概要

- 社名 平田機工株式会社
- 東京本社所在地 東京都品川区戸越3丁目9番20号
- 熊本本部所在地 熊本県鹿本郡植木町一木111
- 代表者 代表取締役会長 平田 耕也
代表取締役社長 米田 康三
- 設立年月日 1951年12月29日（創業1946年）
- 従業員数 1,249名（単体） 1,970名（連結）（2008年9月30日現在）
- 資本金 2,633百万円
- 株式上場 JASDAQ証券取引所上場（2006年12月）
- 証券コード 6258
- 事業内容 各種生産システム、産業用ロボット及び物流関連機器等の製造ならびに販売

沿革および事業領域の変化

産業用車輛の製造・販売

1946年 現会長 平田耕也 が父 平田恒一 とともに 創業
1951年 熊本県熊本市に平田車輛工業株式会社を設立

運搬の合理化 コンベアシステム
自動化 ロボット開発

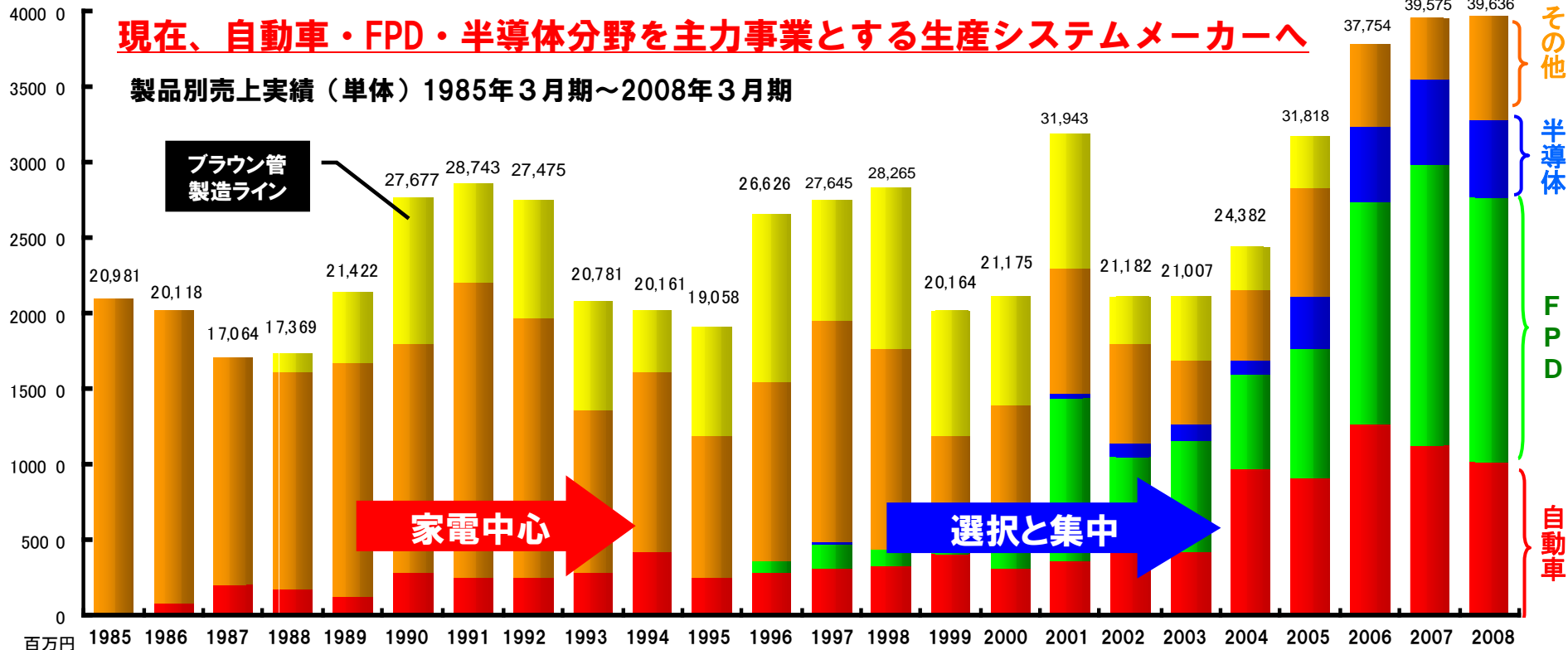
1970年代 フリーフローコンベヤシステムの開発
1980年代 組立用スカラ型ロボット実用化、自動組立ライン製造・販売

ソフトウェア技術の導入
生産システム製造・販売

1990年代 ソフトウェア技術の導入、生産システムの製造・販売

現在、自動車・FPD・半導体分野を主力事業とする生産システムメーカーへ

製品別売上実績（単体）1985年3月期～2008年3月期



自動車関連 生産設備事業

エンジン・トランスミッションなどの自動車の駆動系主要部品、
制御用電子機器、車載用電子部品などの組立設備を製造・販売



エンジン組立設備



トランスミッション組立設備



新型リフロー炉

2008年2月 トヨタ自動車株式会社より技術開発賞を受賞

9月 自動車部品関連設備ACS - Cを開発



ACS-C

FPD関連 生産設備事業

液晶パネル、PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）用
ガラス基板を搬送するシステム、ガラス基板に感光剤を塗
布する装置の製造・販売

搬送ロボットやプロセス装置を組み合わせた生産システム



第10世代対応ガラス基板
搬送ロボット



オートローダーシステム

Hirata

東京エレクトロン社

コーターの
開発・製造

コーター&ディベ
ロッパシステムとし
て販売・サポート



東京エレクトロン社と協業
ヘッドコーター（レジスト塗布装置）

半導体関連生産設備事業

プロセス間及びウェハ搬送用ロボット等の搬送装置の製造・販売



ロードポート



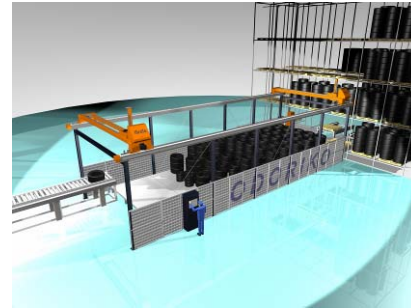
ウェハ搬送ロボット



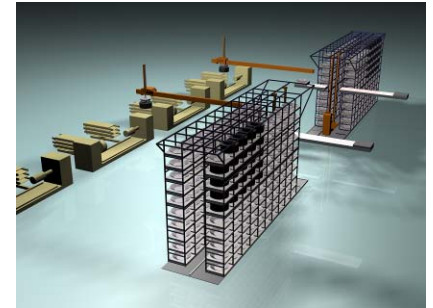
EFEM

物流機器および家電関連生産設備事業

冷蔵庫・薄型テレビ等家電製品の自動組立設備、タイヤ関連設備の製造・販売



タイヤ仕分けラックレスストック



タイヤ自動倉庫



薄型テレビ組立設備

生産エンジニアリングメーカーの平田機工

世界40カ国に及ぶ各分野におけるトップクラスのお客様から高い信頼と評価をいただいています。

開発・提案～サポートまで一貫生産体制を確立



生産エンジニアリング



性能、品質、コスト、安全性、生産効率などトータルな視野で最適な生産システムを提案

サポート力



国内外のネットワークにより、お客様をサポート



国内7拠点 海外13拠点のグローバルネットワーク

モノ造り力



広大な組立・試運転スペースを所有



設備を構成する部品の大部分を自社にて製造。ソフトウェア開発も自社グループ内で対応

II 直近業績と事業の見通し

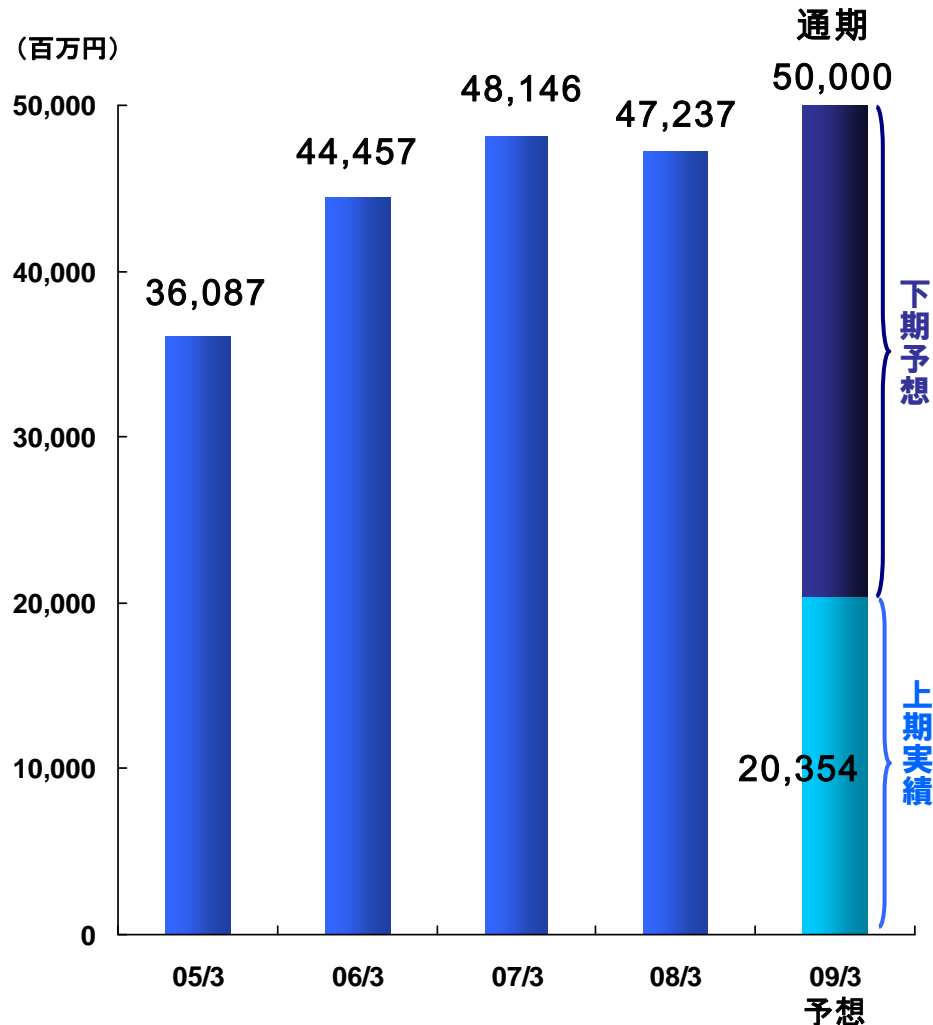
2009年3月期 第2四半期（2008年9月30日）



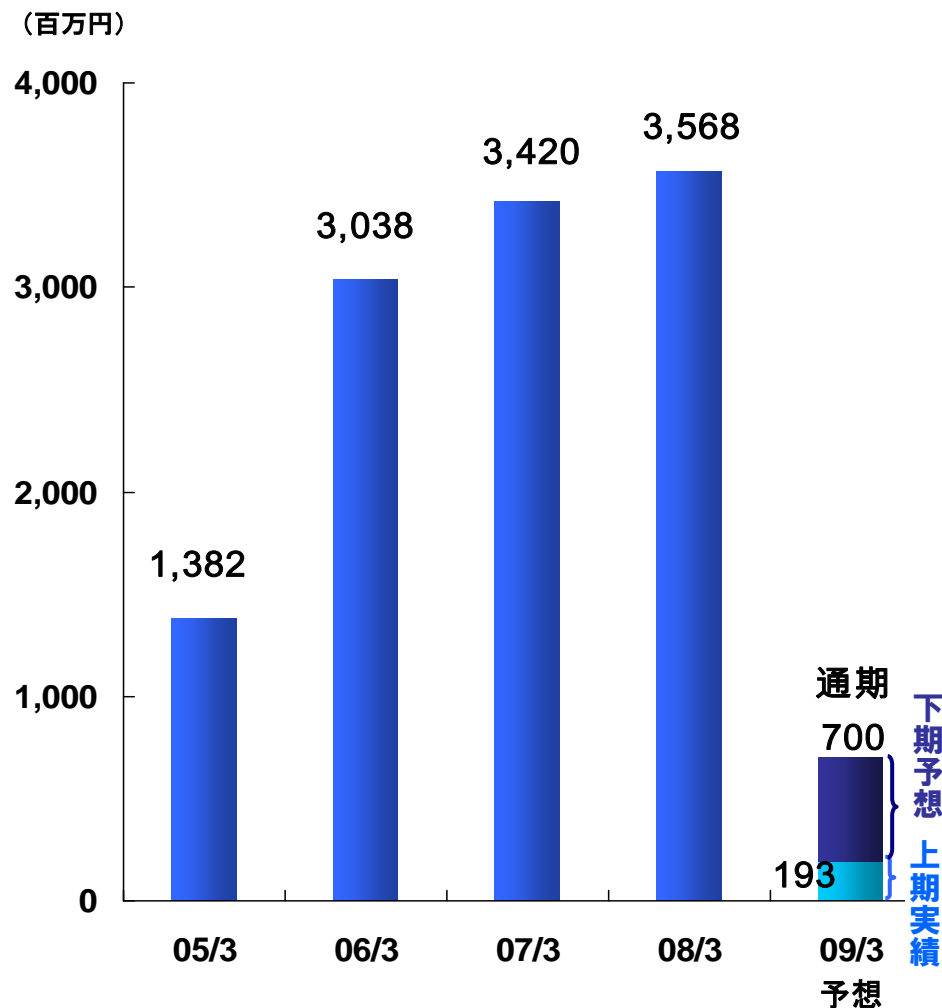
直近4期間の業績推移

売上・経常利益の直近4期間の推移

【連結売上高】



【連結経常利益】



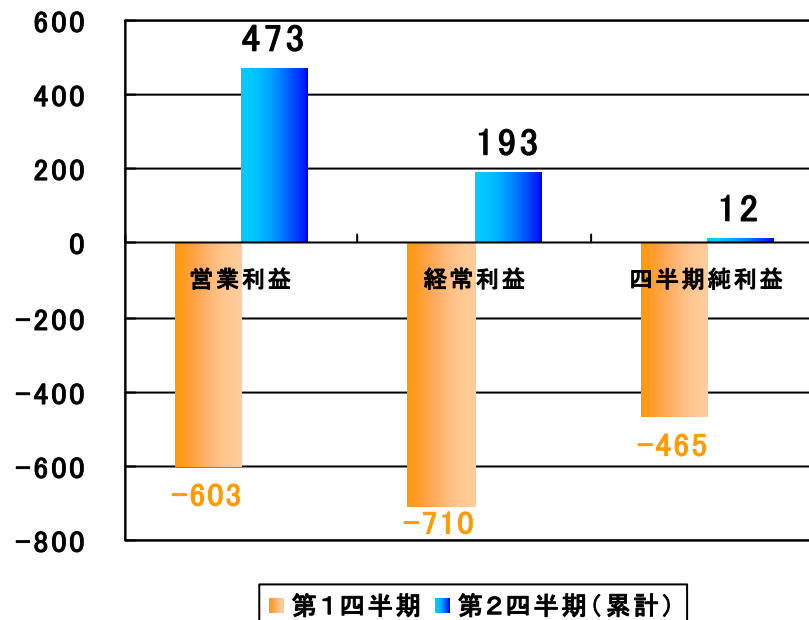
第2四半期 連結決算概要

(単位:百万円)

	2008年 3月期 第2Q 累計実績	2009年3月期 第2四半期累計				前年 同期比 増減率
		当初 計画	修正 計画	実績	達成率 (対当初 計画)	
売上 高	20,806	22,500	20,600	20,354	90.5%	▲2.2%
営業 利益	1,663	700	450	473	67.6%	▲71.5%
経常 利益	1,576	500	230	193	38.7%	▲87.7%
四半期 純利益	648	250	100	12	5.0%	▲98.1%

対第1四半期連結損益比較

(単位:百万円)

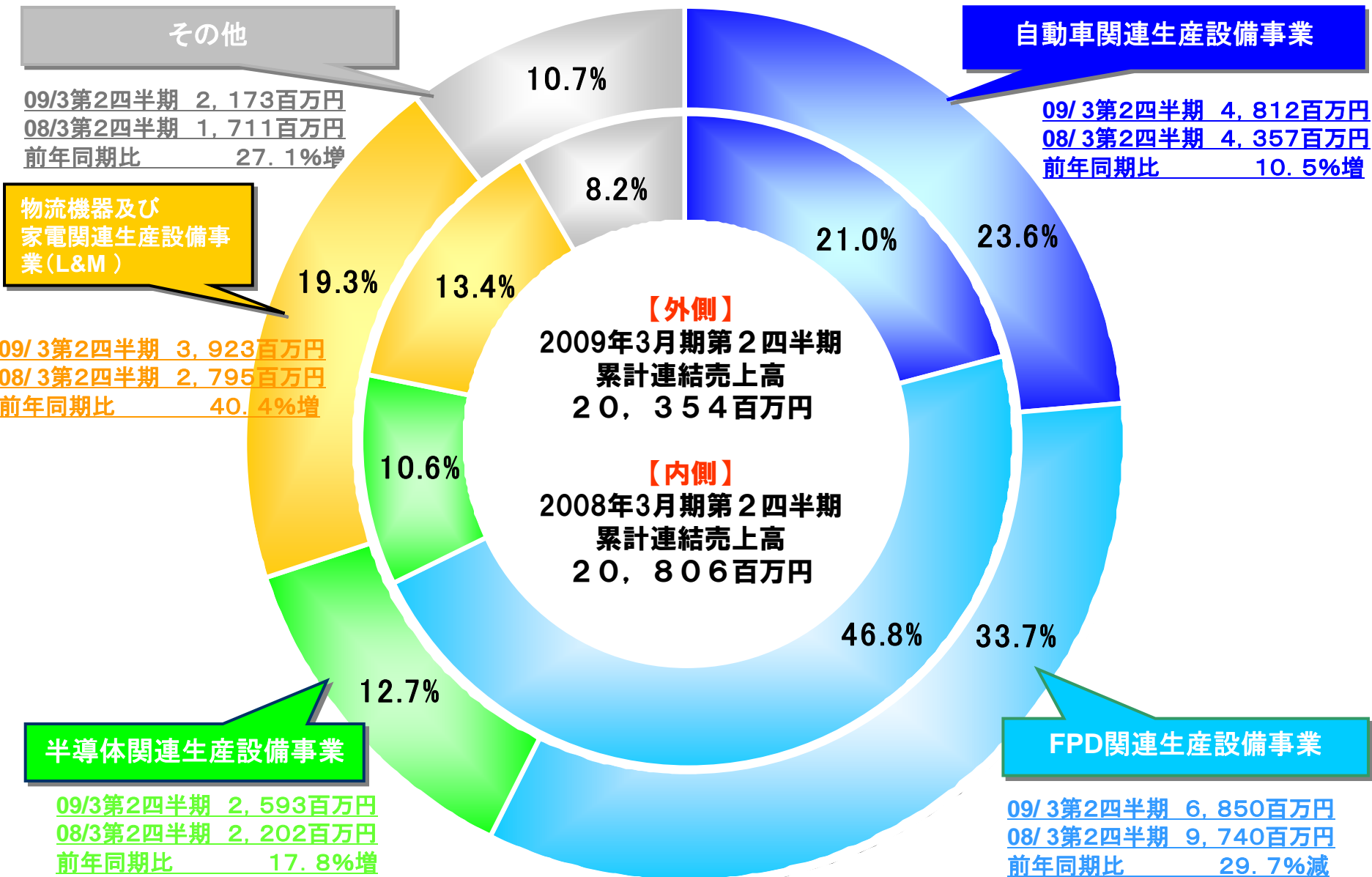


■売上高は対前年同期比微減の水準となり、第1四半期に計上した損失は黒字転換。

■対計画比では売上高は90.5%の達成率。製造費用の増加等により利益は計画を大幅に下回った。

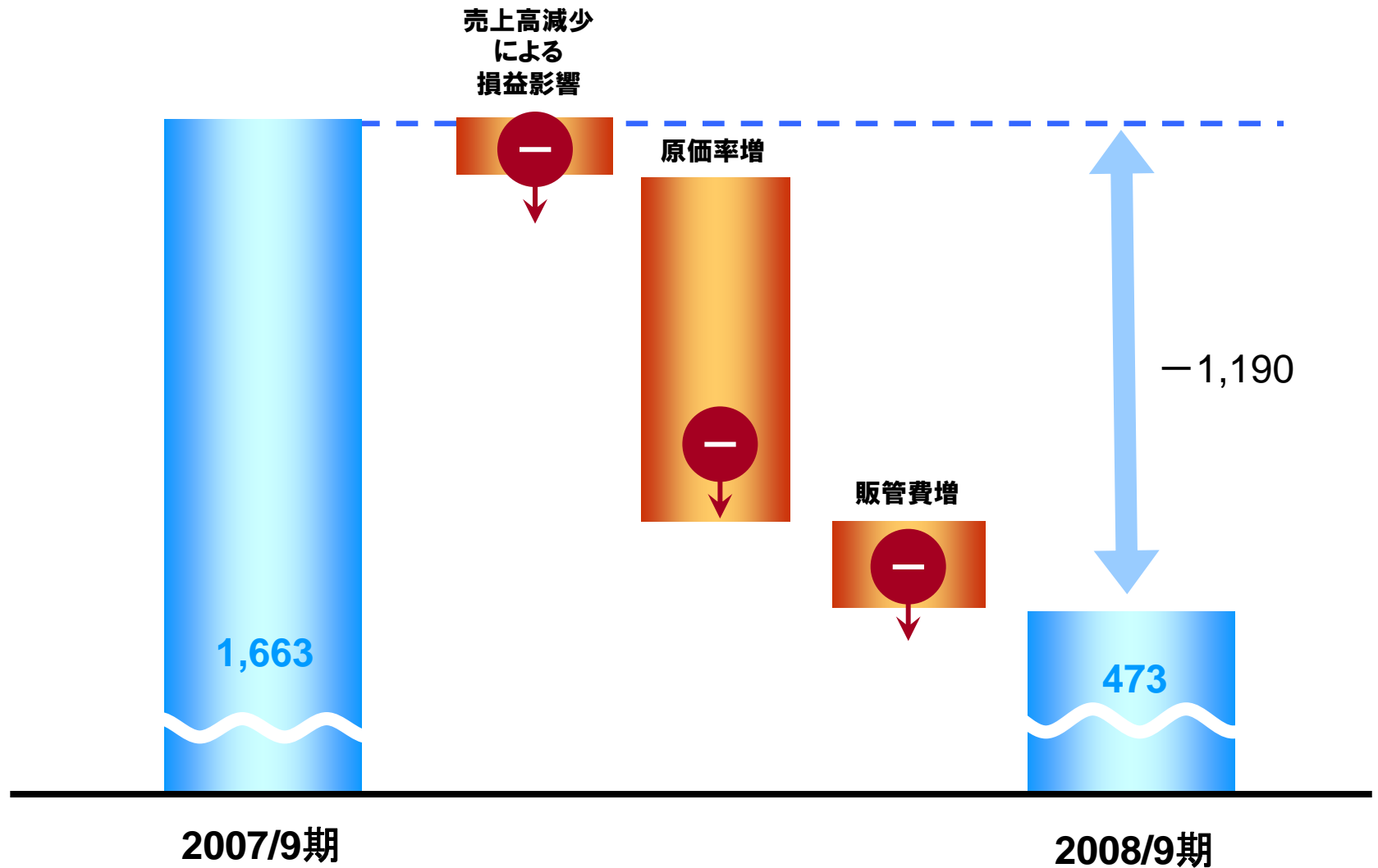
第2四半期決算状況

事業部門別売上高構成比



第2四半期決算状況 営業利益の増減要因分析

(単位:百万円)



世界的な金融不安が实体经济に波及し、景気減速が進む中、生産設備の需要動向についても不透明感が増大。

自動車関連事業

国内及び欧米市場は、景気後退に伴い完成車の販売台数に急ブレーキ。
各メーカーは、クリーンディーゼル、ハイブリッド等、環境対応車種の開発に注力。

FPD関連事業

TV用大型パネル需要の伸び率鈍化。パネル価格も引き続き低下。

半導体関連事業

メモリー分野での投資減とデバイス価格の低迷により減少。

L & M関連事業

FPD下工程の投資は減速。
タイヤ市場は北米・欧州では鈍化。新興国では堅調な成長が期待される。

今期連結業績予想と今後の重点施策

今期連結業績予想

(単位:百万円、%)

項目	2008年3月期	2009年3月期			
	実績	上期(実績)	下期(予想)	通期(予想)	対前期比
売上高	47,237	20,354	29,645	50,000	+5.8%
自動車関連	11,167	4,812	8,687	13,500	+20.9%
FPD関連	17,561	6,850	13,449	20,300	+15.6%
半導体関連	5,183	2,593	2,607	5,200	+0.3%
物流機器および家電	9,878	3,923	3,276	7,200	▲27.1%
その他	3,445	2,173	1,627	3,800	+10.3%
営業利益(率)	3,177(6.7%)	473(2.3%)	706(2.4%)	1,180(2.4%)	▲62.9%
経常利益(率)	3,568(7.6%)	193(1.0%)	506(1.7%)	700(1.4%)	▲80.4%
当期純利益(率)	1,832(3.9%)	12(0.1%)	337(1.1%)	350(0.7%)	▲80.9%

今後の重点施策

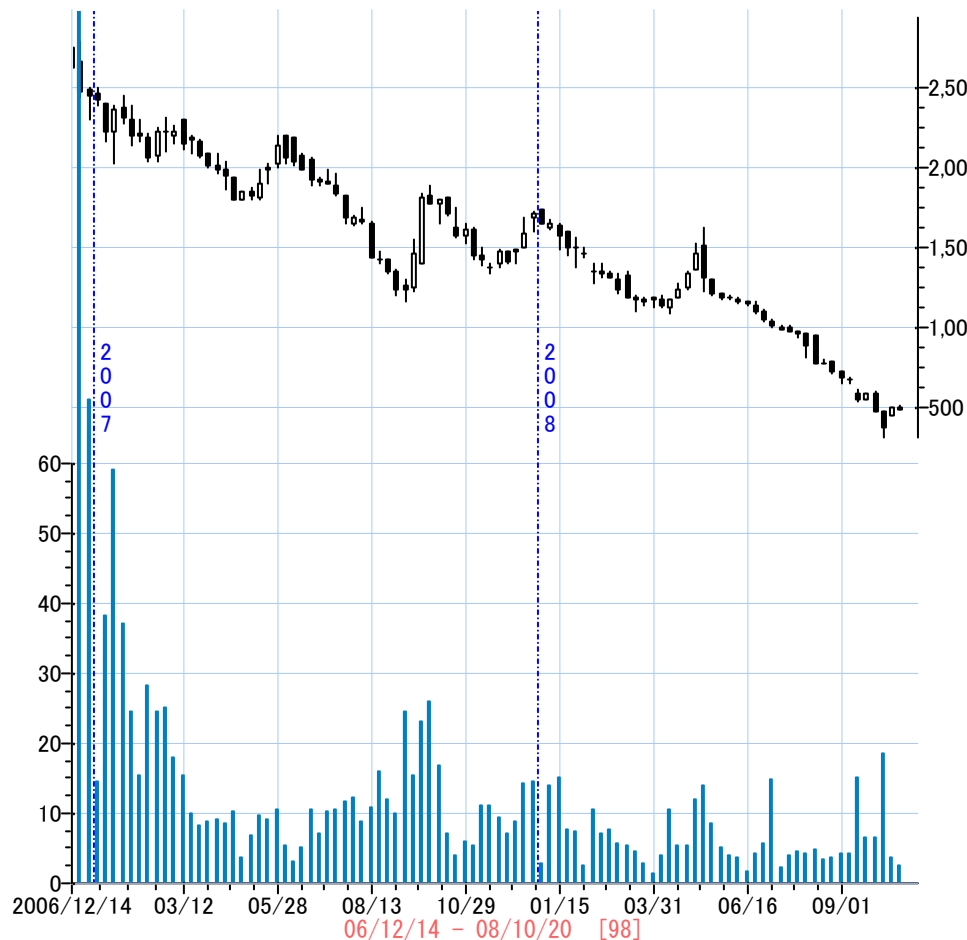
5つの重点施策を遂行し、収益確保およびさらなる成長基盤の整備に努める

1. 個別案件の採算性確保
2. 生産性の向上
3. 調達機能の強化
4. 品質の向上
5. 受注の確保

株価推移と株主還元策

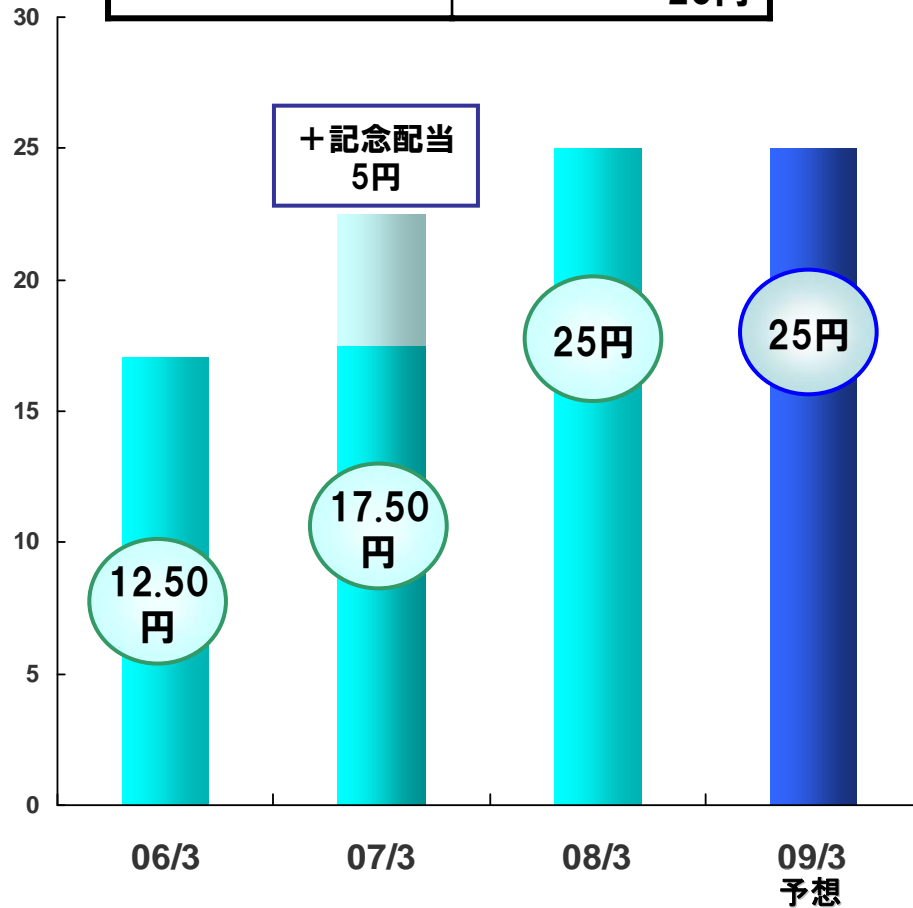
株価推移と株主還元策

【株価推移(週足)】



【2009年3月期 配当金(予想)】

第2四半期累計	通期
—	25円



当社の事業紹介・IR情報などは当社のホームページからご覧いただけます。

当社ホームページアドレス

<http://www.hirata.co.jp>

当社IRサイト

<http://www.hirata.co.jp/ir/index.html>



株主・投資家情報についてのお問い合わせはこちらをご利用ください。

平田機工株式会社 IR・広報室

TEL 096-272-5558 FAX 096-272-3618

IR窓口 hirata_ir@hirata.co.jp

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。